

中国地方知事会広域連携各部会取組状況

No.	項目名	担当県
1	広域防災部会	島根県
2	中山間地域振興部会	島根県
3	家畜防疫広域連携部会	鳥取県
4	スギ花粉症対策部会	岡山県
5	地域医療確保対策部会	広島県
6	公衆衛生活動チーム部会	広島県
7	農業（技術）大学校等広域連携部会	広島県
8	地域産業振興部会	山口県

平成28年5月

広域防災部会

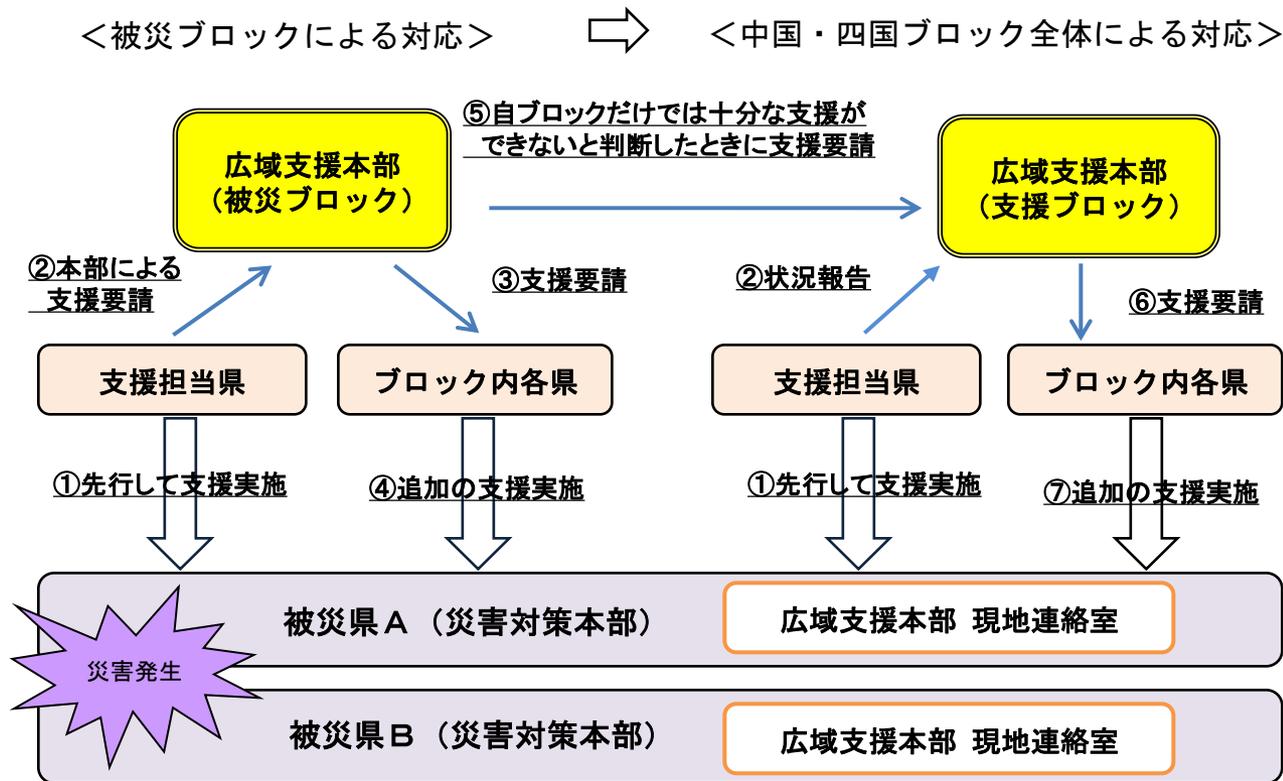
連携テーマ	平成27年度の取り組み	平成28年度の取り組み
大規模広域的災害発生時の連携と調整等WG		
協定具体化WT (山口県)	1. 中国5県共同防災訓練等を踏まえた支援・受援マニュアルの見直し	1. 中国5県共同防災訓練を踏まえた検証による支援・受援マニュアルの見直し
防災訓練WT (鳥取県)	1. 中国5県共同防災訓練の実施 2. 各県防災訓練への参画要領の策定	1. 中国5県共同防災訓練又は中国・四国9県共同防災訓練を予定 2. 訓練情報交換会議の開催
他地域支援WT (岡山県)	1. 四国地方との支援・受援体制の検討	1. 四国地方との支援・受援マニュアルの策定
原子力災害を想定した連携と調整等WG (島根県)	1. 平成26年度に作成した原子力関係共有情報一覧の見直しの検討	1. 原子力安全・防災対策に係る知識の普及
防災担当職員の人材育成WG (広島県)	1. 人材育成の「目指す姿」及び具体的な取り組みの方向性合意 2. 人材育成の取り組みの実施と平成28年度以降の取り組みの具体化	1. 各県の研修等への参加 2. 災害対処実例に関する意見交換会の開催 3. カウンターパートによる共同研修等の開催

中国・四国地方の広域支援協定に基づく支援・受援マニュアルの検討

1. 基本的な考え方

中国・四国9県は、中国・四国各ブロック内の被災県に対する支援を、カウンターパート制に基づき、発災当初から円滑かつ迅速に支援を行う。

2. イメージ図



中山間地域振興部会

平成27年度事業報告

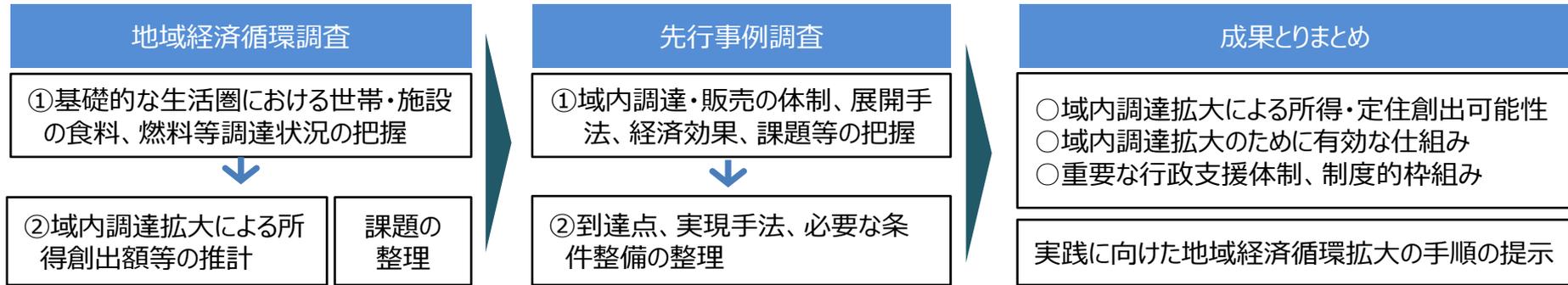
1 共同研究

(1) テーマ 「域内調達・循環の促進による所得・定住創出研究

～中山間地域の資源利用型経済循環拡大による所得創出モデルづくり～」

(2) 研究概要

中山間地域で生産可能な食料、燃料、備品を対象に、基礎的な生活圏における調達の実態把握と域内調達拡大の経済効果を算出し、調達促進に有効な仕組みや行政支援体制を提案。



～ 提言 ～

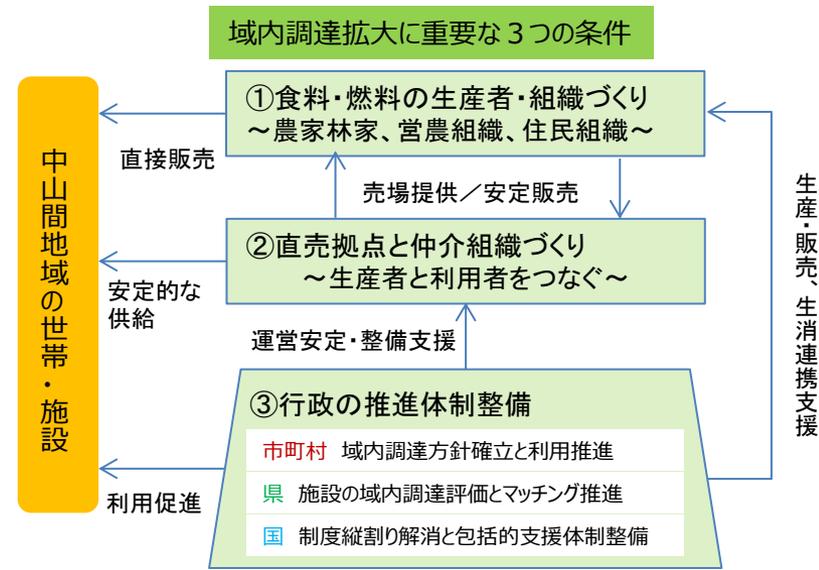
【1】 H27年度共同研究の到達点 → 次の4点が明らかになった

- ① 域内調達の実態
- ② 域内調達拡大の所得・定住創出効果
- ③ 先行事例の実現手法
- ④ 実現に重要な3つの条件

【2】 域内調達拡大の効果は、単に経済効果ではなく、中山間地域を支える人と生業（仕事）を育む効果であることが導きだされた



域内調達の拡大の実現に向けては、3つの条件づくりが連動することが大切



共同研究成果報告会

3月25日(金) 山口県山口市

参加者：約40名

内容：全体概要・まとめ

※具体的な普及については、平成28年度に実施予定



全体概要・まとめ

2 共同事業

中国地方地域おこし協力隊研修会

11月10日(火)～11日(水) 広島県世羅郡世羅町

参加者：約200名

内容：基調講演、活動事例紹介、分科会 現地視察



基調講演



分科会



現地視察

平成28年度事業計画

1 共同研究

(1) テーマ 中山間地域の定住と経済循環を支える拠点（地域運営の仕組み）の形成手法 [提案県：広島県]

(2) 目的

- 1) 定住・経済循環の実現に必要な「基本的機能」「支える組織」「担う人材」とその有効な組合せを提示
- 2) 各地域における地域づくりの現状に応じた拠点形成の展開手法を提示
- 3) 中国地方の先行性、特殊性を踏まえ、全国的な形成に必要な条件整備を提言

(3) 研究期間 平成28年度（単年度）

(4) 研究概要

① 今後の地域の拠点像の共有

- ・「小さな拠点」とは？
- ・周辺部との連携体制は？
- ・「ハード整備中心」の誤解解消

② 拠点実現に必要な機能の整理

- ・必要な基本的機能は？
 - ・支える組織は？
 - ・必要な人材は？
- 有効な組合せは？

③ 具体的な形成ステップの提示

～各地域における地域づくりの現状に応じた形成手法を提案～

④ 必要な条件整備を提言

～縦割り解消、広域連携、共通して必要な基盤整備の観点で集約～

2 共同事業

中国地方地域おこし協力隊研修会（5月23日～24日 岡山県）

家畜防疫広域連携部会

連携テーマ

高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等家畜伝染病対策の広域連携体制の構築

H27年度取組内容

高病原性鳥インフルエンザ対策の体制構築

- 広域防疫体制連携ワーキンググループによる検討会議3回（6/17、7/30、10/9）
- 制限区域と消毒ポイントを複数県で表示できるマップシステムの作成
- 5県の養鶏農場、県境の消毒ポイントの情報を共有
- 「中国地方5県における家畜防疫対策の広域連携に関する協定」締結（11月6日）

①連携情報の共有

平時：農場情報、消毒ポイントの設置場所、防疫資材の備蓄状況等

発生時：迅速な情報提供（発生情報、家畜・人・飼料運搬車両等の出入りに関する疫学情報）

締結後の
メリット！

- ・発生時の速やかな防疫対応、消毒ポイント設置
- ・一元的な情報提供による混乱防止
- ・これまで国を経由していた情報を、発生県からリアルタイムに入手

②連絡調整体制の確保

各県の連絡窓口の共有

連絡調整の幹事県を設定

③発生時の防疫資材の相互調達

各県が備蓄している防疫資材の融通要請が可能

大規模農場で発生があった場合に、迅速な資材調達が可能

④家畜防疫員等の派遣

家畜防疫員（獣医師）が不足する場合等、各県間の職員派遣が可能

現場のリーダーとなり得る防疫員の迅速な派遣が可能

家畜防疫広域連携部会

平成28年度取組計画

■ 取組体制

ワーキンググループから家畜防疫広域連携部会へ格上げし、検討体制を強化

■ 口蹄疫対策の構築

5県の偶蹄類飼育農家情報、消毒ポイント情報の共有

■ 広域防疫体制

防疫機材の整備、資材の備蓄量や配備に関する検討

■ 合同演習等の実施

- ① 情報伝達に関する5県机上演習
- ② 5県の家畜防疫員(獣医師職員)を対象とした合同研修会



【防疫資材の備蓄】



【消毒ポイントにおける車両消毒】

4月22日 部会検討会(共有する情報の具体的項目やスケジュールの検討)

7月～ 8月 隣接県間で農家情報の共有、消毒ポイント摺り合わせ作業

8月～10月 5県合同の研修会、机上演習の開催(課題抽出)

10月 部会検討会 (共有情報まとめ、課題整理)

スギ花粉症対策部会

■ 連携テーマ

- ① 中国地方連絡会議の開催
- ② 苗木の相互融通と植替えの促進
- ③ 普及啓発活動

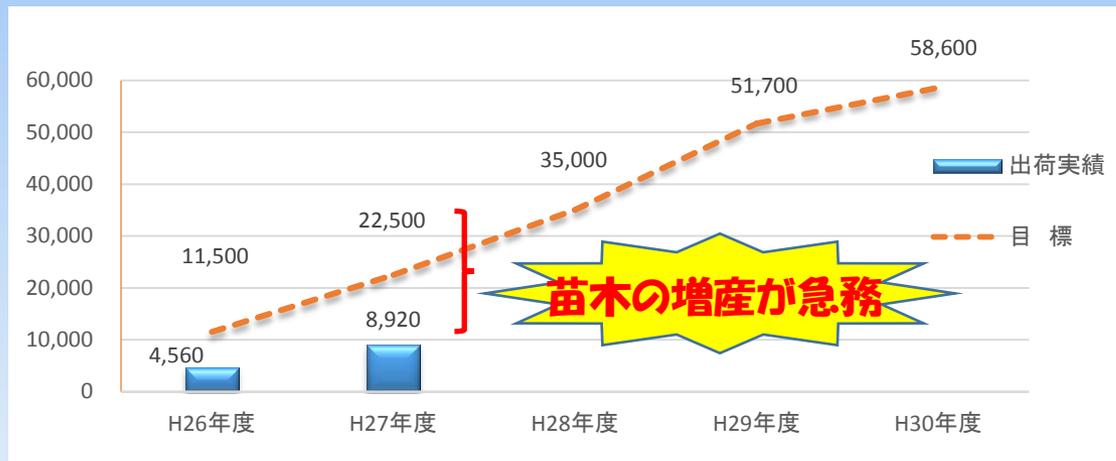


■ テーマ毎の進捗状況

連携テーマ	目標	平成27年度実績	平成28年度計画
① 少花粉スギ普及推進中国 地方連絡会議の開催	・連絡会議の開催(年1~2回)	・課題の共有 →苗木の安定供給体制の早期確立 第3回 (H27. 5. 14) 第4回 (H27. 10. 22)	・課題の共有 →苗木の安定供給体制の早期確立 第5回 (H28. 5. 16) 第6回 (H28. 10 予定)
② 少花粉スギ苗木の相互融通 と植替えの促進	・苗木出荷本数 179,300本 ・植替え面積 72ha ※H30年度末までの累計値	・出荷実績 8,920本 [累計 13,480本] ・苗木の相互融通実績 500本 岡山県 → 広島県 500本 ・植替え面積 3.82ha [累計 5.38ha]	・出荷目標 35,000本 ・従来の挿し木生産に、種子からの 生産を追加 ・発根の良い品種の特定 ほか
③ 少花粉スギ等に関する普及 啓発活動	・モデル林設置 25箇所 ・リーフレット等の作成、配布	・モデル林設置5箇所 (各県1箇所設置) [累計 15箇所]	・モデル林設置5箇所 (各県1箇所設置)

スギ花粉症対策部会

■ 苗木出荷



■ モデル林の設置

県	H27までの実績	H28計画	累計見込
鳥取県	2	1	3
島根県	2	1	3
岡山県	7	1	8
広島県	2	1	3
山口県	2	1	3
計	15	5	20



今後の取組

■ 苗木の安定供給体制の早期確立

挿し木生産に種子からの生産を追加、発根の良い品種の特定

地域医療確保対策部会

連携テーマ: 医療情報システムの連携

各県の医療情報システムの連携状況

■ 目指す姿

- ・ 県境をまたがる中核医療機関と診療所等の連携の高度化による医療サービスの向上

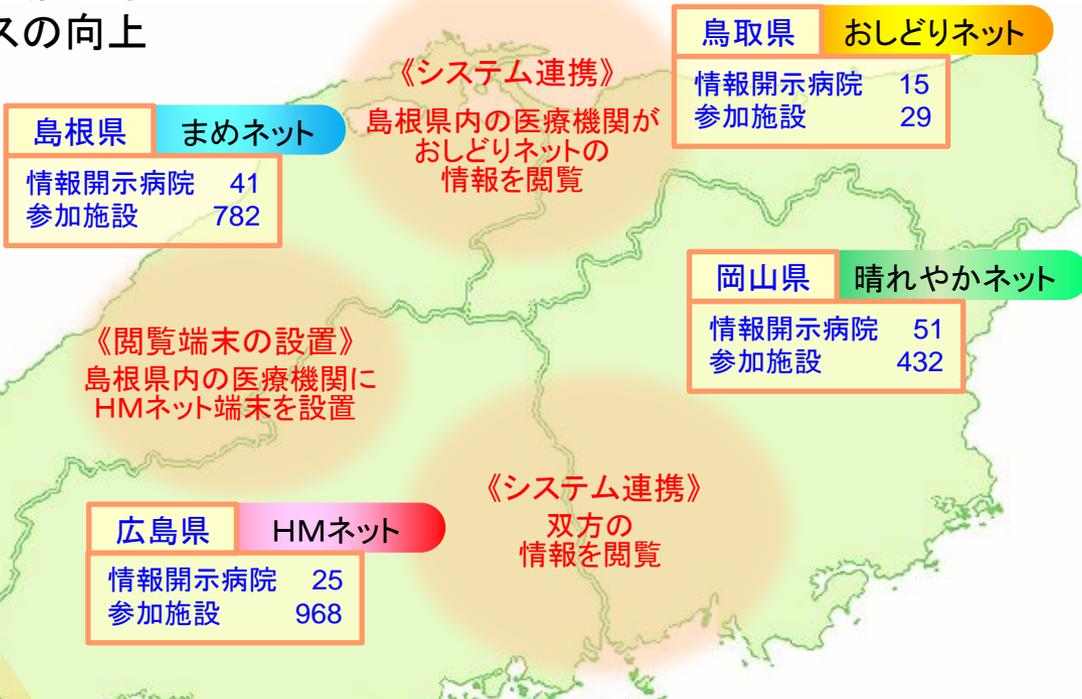
■ 取組状況 (平成27年)

◆ システム連携

- 広島県 ■ 岡山県 (H28.4月 運用開始)
- 島根県 ■ 鳥取県 (H28.5月 運用開始)

◆ 閲覧端末の配置 (27.5~)

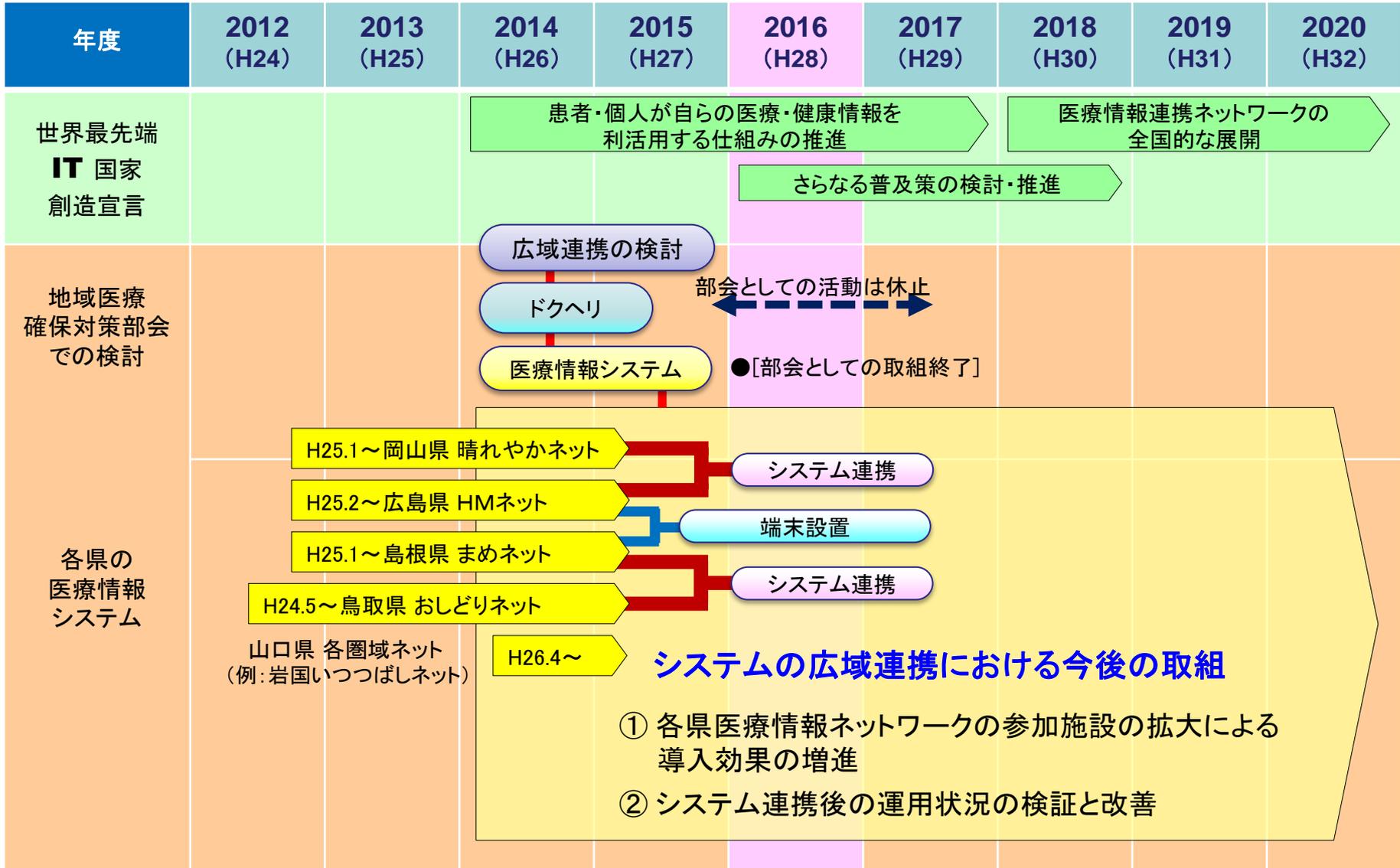
- 広島県 ■ 島根県
(HMネットの閲覧端末の配置)



← 平成28年4月15日 岡山県井原市内におけるHMネットの運用講習会と画面説明の様子

地域医療確保対策部会

医療情報システムの開発ロードマップ



公衆衛生活動チーム部会

■ 連携テーマ

災害時公衆衛生チーム等の創設及び相互連携

■ 目指す姿

災害時に、中長期間、避難所等で生活する避難者に対して、健康管理、服薬指導、心のケアなどの公衆衛生支援を行えるよう、災害時公衆衛生チーム等を創設し、5県での相互連携を図る。

■ これまでの成果と平成27年度の取組状況

目 標	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①各県による専門 家派遣の仕組み の創設	・各県が実情に応じた専門家派遣の仕組みづくりに取り組むことを決定	・各県において、専門家派遣の仕組みを創設	各県における仕組みの充実 ・関係団体等との調整による多様な専門家を派遣できる体制の整備 ・活動マニュアルの充実
②各県間の相互 連携体制の構築	・各県間の相互連携体制の運用について検討していくことを決定	・各県の仕組みをもとに相互連携体制の運用を検討	・各県間の相互連携体制の運用方法の合意 (中国5県災害等発生時の広域支援に関する協定に基づく支援) ・相互連携マニュアル制定
③合同研修会の 開催	・研修会の開催 (H26.3.19)	・研修会の開催 (H27.3.19) (※8.20土砂災害での公衆衛生チームの支援について検証)	・研修会の内容等の検討 ・研修会の開催(H28.1.12)

公衆衛生活動チーム部会

■【目標②】各県間の相互連携体制の構築(平成27年度検討状況)

1 各県間の相互連携体制の運用方法の合意

《検討事項①》

- 被災県に対する支援を行う県をあらかじめ定めたカウンターパート制により、予め定められた支援担当県が、災害時公衆衛生チーム等を派遣する体制の整備。

《部会合意事項》

- 協定第3条に基づき、支援担当県が、災害時公衆衛生チーム等を派遣する。
- 県職員以外の者が派遣可能な支援担当県においては、被災県との調整の上、専門職種を派遣する。

《検討事項②》

- 大規模災害等により、中国5県広域支援本部が、中国地方知事会会長県に設置された場合の当部会との連携による派遣調整。

《部会合意事項》

- 中国5県広域支援本部に集約された被災県の情報を基に、会長県(当部会担当部局)が判断を行い、広域支援本部からブロック内各県へ追加の派遣を要請する。

2 相互連携マニュアル制定

- マニュアル素案の合意が得られたため、平成28年4月からの運用を実施。

■今後の取組方針

公衆衛生活動チーム
部会の活動終了



- 各県間の相互連携体制の維持
- 定期的な会議の開催
- 合同研修会の開催



広島県が取りまとめ県として、
引き続き連携した取組を実施

農業（技術）大学校等広域連携部会

[連携テーマ]: 農業（技術）大学校の魅力アップに繋がる広域連携の推進

■ 相互連携の体制整備と円滑な運営

- ・「中国地方知事会農業（技術）大学校等広域連携部会ワーキング会議」の設置（H26.6.25）
（各県の大学校及び県庁農業施策担当課の11名で構成）
- ・ワーキング会議の実施（H26.9.8, H26.12.8, H27.3.9, H27.5.11, H27.7.8, H27.10.13, H28.2.19）
（H26年度の連携活動の調整と検証, H27年度の取組計画の協議, H27年度の活動検証とH28年度の取組計画の協議, 統廃合を想定したメリットデメリットの検討 等）

■ 相互連携活動の実績

項目		内容	他県参加状況
教員研修	H26	大学校農業高校教職員合同研修会(8/5 広島県)	鳥取1人, 岡山4人
	H27	中国地方農業(技術)大学校教職員研修会(9/29 広島県)	鳥取2人, 島根1人, 岡山3人, 山口1人
集中講義	H26	新規就農者アグリビジネス講座(10/10 山口県)	広島2人
		先端農業機械特別講義(11/19, 20 広島県)	鳥取5人, 岡山4人
		農業高校・大学校合同フォーラム2014(12/24 広島県)	岡山1人
		食育講演会(1/18 島根県)	岡山1人
	H27	農業機械安全メンテナンス研修(2/12 広島県)	岡山2人
		平成27年度農業経営力養成講座(8/10~8/12 山口県, (社)アグリフューチャージャパンとの共催)	鳥取5人, 島根6人, 岡山6人, 広島5人

農業（技術） 大学校等広域連携部会

項目		内容																																																								
学生募集	H26～	中国5県の学生募集要領を各県ホームページへ掲載し紹介 (H28県外入学者数:鳥取県へ3人, 岡山県へ1人)																																																								
	H27	特徴あるコース(鳥取県:作物コース, 島根県:林業科)を各県ホームページへ掲載し紹介・募集 (H28県外入学者数:鳥取県作物コースへ1人)																																																								
農家派遣研修 の相互受入	H26	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受入先</th> <th>鳥取県</th> <th>島根県</th> <th>岡山県</th> <th>広島県</th> <th>山口県</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">派遣元</td> <td>鳥取県</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>島根県</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>岡山県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>広島県</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>山口県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>							受入先	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	計	派遣元	鳥取県		1	1	2		4	島根県			1	1		2	岡山県						—	広島県			1		1	2	山口県						—	計	—	1	3	3	1	8
		受入先	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	計																																																		
派遣元	鳥取県		1	1	2		4																																																			
	島根県			1	1		2																																																			
	岡山県						—																																																			
	広島県			1		1	2																																																			
	山口県						—																																																			
計	—	1	3	3	1	8																																																				
H27	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受入先</th> <th>鳥取県</th> <th>島根県</th> <th>岡山県</th> <th>広島県</th> <th>山口県</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">派遣元</td> <td>鳥取県</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>島根県</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岡山県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>山口県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>							受入先	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	計	派遣元	鳥取県		1		2		3	島根県			1			1	岡山県							広島県							山口県							計		1	1	2		4	
	受入先	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	計																																																			
派遣元	鳥取県		1		2		3																																																			
	島根県			1			1																																																			
	岡山県																																																									
	広島県																																																									
	山口県																																																									
計		1	1	2		4																																																				
その他	H27	統廃合のメリットデメリットなどの検討を行った。																																																								

■部会での活動成果

これまでの活動成果

5県での学生募集
集中講義, 各種講座等の開催
就農就職情報の共有
教職員間の連携及び研修会の実施



大学校広域連携
部会の活動終了



大学校の魅力アップ

中国5県が各種行事等
を開催し, 相互連携を継続
推進

地域産業振興部会

取組状況

(1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・相互参加

○展示会への共同出展

・機械要素技術展

(H27. 6. 24~26 東京)

※終了後別途、5県の出展社による情報交換会を開催



○商談会の共同開催

・関東圏広域取引商談会及びタイ商談会

(H27. 6. 25 東京 幹事県: 広島、島根)

・中国ブロック合同商談会

(H27. 9. 8 広島 幹事県: 島根)

○各県の商談会の相互参加

・日本食品輸出商談会

(H27. 9. 2: 広島主催)

・中四国地域環境産業商談会・展示会

(H27. 11. 13: 岡山主催)



(2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

○研究会・研修会等の相互参加

・航空機キックオフセミナー(H27.4.30 山口主催)

・おかやま電池関連技術研究会(H27.7.6ほか6回、岡山主催)

・カーテクノロジー革新研究会講演会(H27.8.27ほか1回広島主催)

・鳥取県太陽光発電関連産業育成セミナー(H27.10.28鳥取主催)

(3) 公設試験研究機関の連携強化

成果

県外企業に対する機器使用の
割増料金の解消
(H28年4月から)

(4) 海外事務所の共同利用

○海外事務所の共同利用(試行)に関する実施要領の策定及び試験的な取組の開始(H28.2.2)

28年度の取組予定

(1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・相互参加

- ➡ ○機械要素技術展への中国5県での出展
- ・各県出展ブースの集約
 - ・出展企業による交流会の開催
- 各県単独で実施している商談会・展示会等で、可能なものについて、他県への参加を案内
- ・中京地区広域取引商談会(広島主催)
 - ・中国進出日系大手企業との商談会(岡山主催)



(2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

- ➡ ○各県単独で実施している研修会・研究会等で、可能なものについて、他県への参加を案内
- ・航空機セミナー(山口主催)
 - ・ロシアビジネスセミナー(鳥取主催)
 - ・航空機産業ビジネスセミナー(島根主催)



(3) 公設試験研究機関の連携強化

- ➡ ○公設試験研究機関の人材交流
- 公設試験研究機関連携による共同研究
- ・「味覚評価研究会」の実施



(4) 海外事務所の共同利用

- ➡
- ・海外事務所の共同利用(試行)に関する実施要領に基づく実施状況・課題の把握
 - ・本格実施に向けての是非の検討

